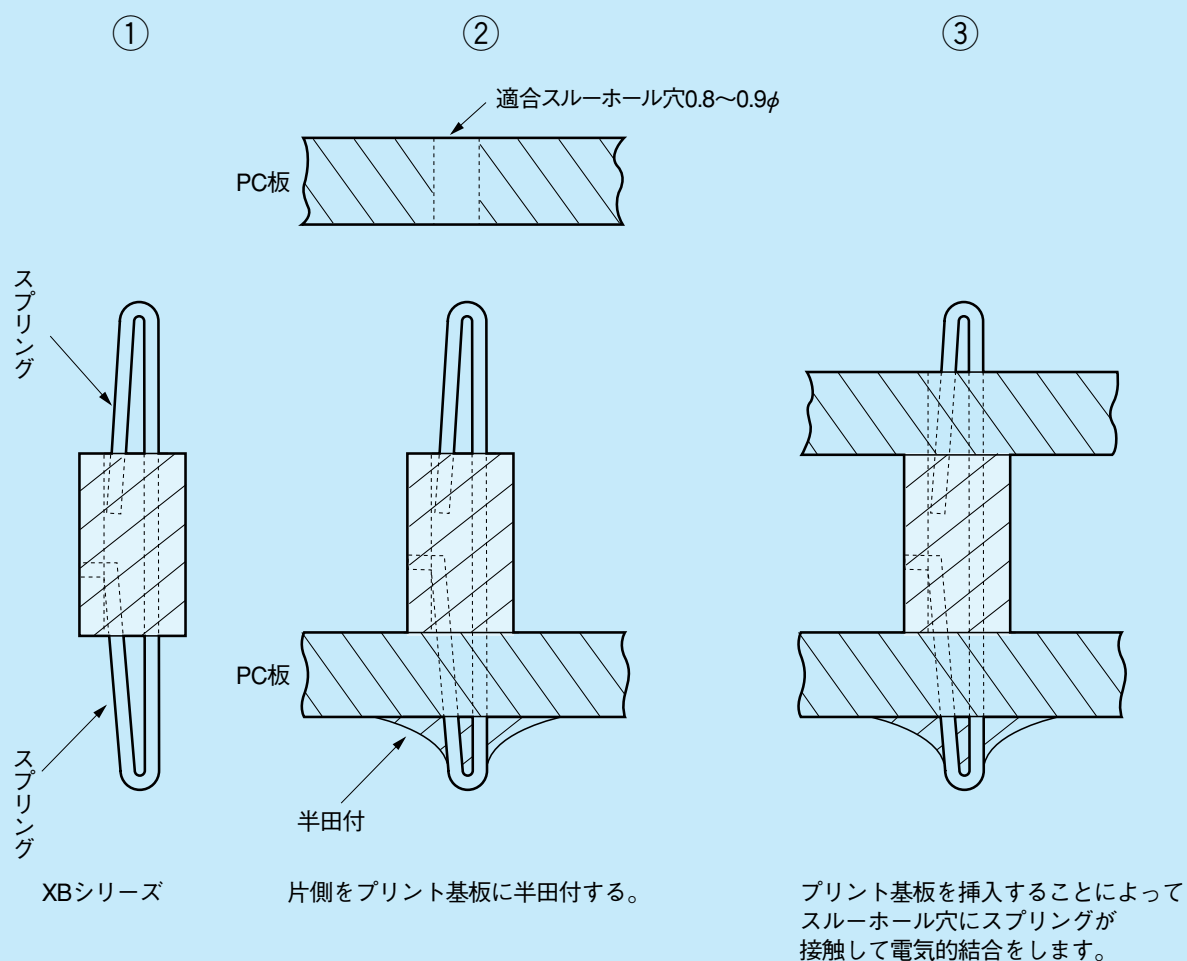


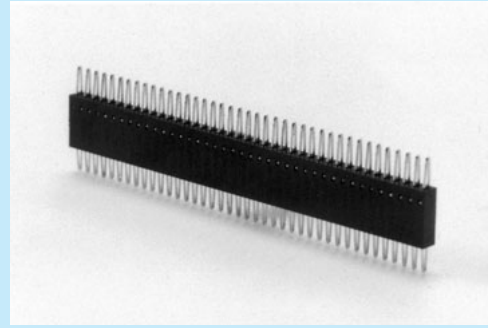
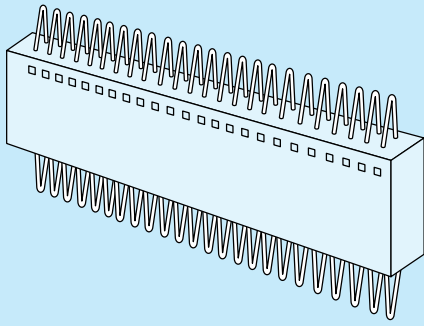
スルーホール穴がソケットになった!! プリント基板の二段重ねに コンスルー®シリーズ PAT

■原理



■コンスルーシリーズの特徴

1. 本製品1個でオス、メス兼用できます。(ソケット不用)
2. ソケットが不用なのでPC板対PC板の高さが低くできます。(1mm~10mm)
3. XBシリーズ半田付側もスプリング性がある為、製品の傾きがなく、直立できます。
4. 両側共、半田付しても使用できます。



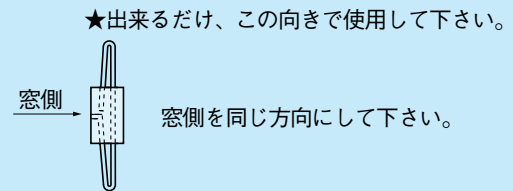
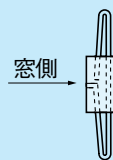
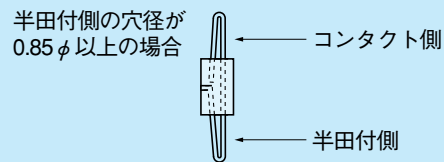
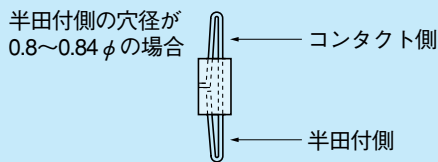
■コンスルーシリーズ使用上の御注意

1. プリント基板適合スルーホール穴… $0.8\phi \sim 0.9\phi$ TH仕上がり径 (0.85 ϕ 中心に作って下さい。
(半田付側、コンタクト側共) [PC板下穴キリ径0.95 ϕ (メッキ前) (参考値)]
2. スルーホール穴処理……………①ホットエアレベラー、半田レベラー、ソルダコーター、SC法によるプリント配線基板 (右記①、②どちらかの基板)
 - メッキ厚…銅メッキ20 μ 以上
半田メッキ3 μ 以上 (6:4共晶半田)
 - ②金メッキ…銅メッキ20 μ 以上
ニッケルメッキ3 μ 以上
金メッキ0.05 μ 以上
3. スルーホール穴に付着したフラックスは完全に除去して下さい。
4. 挿抜回数は、同一スルーホール穴に対して、50回以下で御使用下さい。
5. 結露しない場所で使用のこと。
6. 半田付側とコンタクト側を間違えないようにして下さい。

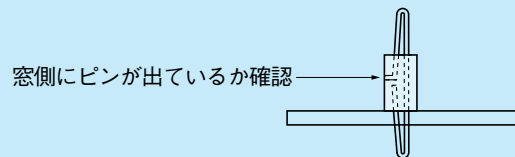
■抜き差し側が銅スルーホール基板の場合は使用出来ません。
(銅の酸化が早い為)

以下XBシリーズ

7. 2個以上使用する場合は同一方向に立てて下さい。



8. 半田付側をプリント基板に挿入後、窓側にピンが出ているかどうか確認して半田付して下さい。(PC板穴径小さい場合、挿入時、樹脂よりピンが抜ける場合があります。)
 - 反対側に取付けた場合は、確認不要です。



9. 半田付側にピンを挿入する時、ピン上部 (コンタクト側) を持って挿入しないで下さい。又、挿入後、ピン上部を押して整列しないで下さい。(コンタクトするPC板の穴径が0.8 ϕ に近い場合、ピンの引っかかり部が窓に引っかかってスプリングの戻りが悪くなる場合があります。) 樹脂を持って挿入して下さい。(反対側に取付けた場合は関係ありません)

